

# 議会だより



## 主な内容

- 町長・議長新春対談 ..... 2~3
- 一般会計補正予算 ..... 4
- 常任委員会で慎重審査 ..... 5~6
- 議員6人が一般質問 ..... 7~13
- 議案の賛否 ..... 14
- 職場訪問シリーズインタビュー ..... 15
- 大好きみささ町 ..... 16

## 職場訪問シリーズ

P15 に三朝町在住の働く若者へのインタビューを掲載しています

内外精機工業株式会社 三朝工場 (高橋)  
小野奈緒実さん (大瀬)、村本辰之介さん (牧)

特集記事

令和8年町長・議長新春対談

「2026年はまちづくりの新たなステップへ」

令和7年を振り返って

【司会】 新年おめでとうございます。松浦町長は3期目を迎えられ、松原議長も3期目に新たに議長に就任されました。初めに令和7年を振り返ってお二人の感想を伺います。

【町長】 コロナが明けて、停滞していた地域活動や産業、教育を平時に戻して、次につなげていくことをやってきました。特に町民の皆さんが健康であるということと、いろんな方と交流することで町の動きが出てくるという2つのテーマを持って、準備を進めてきました。それを令和8年度からの新たな取り組みへつなげていく、そうだったことを進めてきた年だったと思います。

【議長】 昨年を振り返りますと、なんと書いても暑い夏でした。また、米の値段

も倍になってしまい、物価高が非常に印象に残っています。町民の皆さんも大変だったのではないのでしょうか。個人的には選挙の年でしたので、町内を歩く中で皆さんのいろいろなご意見を伺うことができてよかったと思っています。

今年、重点的に取り組んでいきたいことは

【町長】 これまで準備を進めてまいりました温泉を活用した健康まちづくり事業と、旧三朝小学校を活用していくことです。旧東小学校は神戸の須磨学園が通信制高校の準備を進められています。進展を見ながら地域との関わりや学校の準備がスムーズにいくように協力していきたいです。2つをメインにして、様々な町の課題を解決し前進していく年にしていきたいと思っています。

【議長】 議会はこの度から2名減りまして定数が10名になりました。これまで以上にしっかりと議論を進め、より良い方向を考える必要があると強く思っております。議会として提案もさせていただきますが、町政を皆さんと共にしっかりと見ていきたいと思っています。



松原成利議長

松浦弘幸町長



## 温泉を活用した健康まちづくり事業の取り組み

**司会** 事業の具体的なお話を聞かせてください。

**町長** これまで策定してきた基本構想を基にして、それを具現化していく年になると思っています。1つには、拠点となる日帰りの入浴等施設を山田地内に整備します。今年から事業に着手をして、令和10年3月の完成を現在の目標として進めていきます。

並行しながら温泉活用プロジェクトということで、ウェアラブルデバイスを使って、300名の方をモニタリングするモニター事業を進めています。それぞれの日常生活の中で集めた心拍数や血中



酸素、カロリー摂取量、睡眠時間などのデータを共有しながら、今後は三朝温泉病院や岡山大学と健康づくりのプログラムを作っていきたいと思っています。

このような取り組みにより、三朝温泉の観光面での特徴づくりにもなりまして、皆さんの日々の暮らしに役に立つようなことに結びつけていく事業にしていきたいと思えます。

**議長** 三朝温泉入浴等施設整備事業のお話が出てきましたから、町内・町外の皆さんが本当に期待しておられます。気軽に利用できるスポーツジムや子どももの遊び場も兼ねた施設になるところに注目しておられます。三朝温泉の元々のパワーに加えて、新たな名物になっていくのではないのでしょうか。

## 日本遺産のブランド化と魅力向上

**司会** 今後の取り組みについて伺います。

**町長** 重点支援地域という新たな指定を受けて、改めて三朝温泉がどのような観光地を作っていくかということが大事だと思っています。六根清浄と六感治癒の

地というテーマを掲げていて、三朝の資源、温泉、構成文化財、食、様々な体験などを観光の魅力商品として活用していく。日本遺産を冠にしてすべての取り組みを情報発信していきたい。

特徴ある温泉が各地にありますけど、全国でも稀なラドン温泉の効果も1つの価値として出していく必要があると思えます。

**議長** 日本遺産の最初の認定の時、原保全に重きをおいていると思っておりますが、実は保存していくことより、活用といたところが非常に重要なポイントだったと今思っております。ほかにはない恵まれた日本遺産を財産として活用し、議会としても検証し支えていく姿勢が大事ではないかと思えます。

## 今年の抱負

**町長** 2026年はまちづくりの新たなステップへ向かうのではないかと考えています。温泉の活用と、町の施設を再利用していく。そして、いろんな人の動きを作っていきたいと思えます。

**議長** 本町は、観光なくして町の税収は成り立ちませんし、商・工業、農業も含め

て、なくてはならないものです。十分に協議し、バランス調整することが最も良い方向ではないかと考えております。そのためには、全町が一体感を持って、町が成長していくことが大切です。議会としてもそのように協議を進めて、より良い三朝町を目指してまいります。

各市町村を見ますと、選挙に関心が薄れている気がしますので、若い人でも議員としての活動が出来る体制、1つに安すぎる町村議会議員の報酬という話がありますが、こういったことにも皆さんの理解を得ながら取り組んでいくべきではないかと考えているところです。



**司会** 議会広報委員会

森貴美子委員長

# 12月 定例会

## 一般会計補正

(1億5,977万8千円を追加し、  
予算総額は63億941万4千円となりました。)

12月定例会（12月9日～17日）は、町長から提出された一般会計補正予算など12議案を審議し、原案どおり可決及び同意しました。補正予算の主な概要は次のとおりです。

### 主な補正

#### ◇バス停留所整備事業 410万円

役場前のバス待合所（倉吉方面）を撤去し、近隣への再整備に係る経費

#### ◇学校給食費負担軽減事業 63万6千円

給食用米の入札結果による11月以降の給食費単価の値上げに対して、保護者負担を軽減するための値上げ分を追加補助

### 新たな取り組みが次々とスタート!!

#### 三朝町くらし応援商品券

物価高の生活支援として、令和7年12月18日時点で住所を有する町民に町内事業所で利用できる商品券を1人当たり1万3千円（千円券×13枚）配布する。

#### 〈発送予定〉

令和8年2月頃に郵送

#### 〈使用期間〉

商品券発行日～令和8年9月30日

#### 交通系IC決済サービス

令和8年3月から町内路線バスでも「交通系IC決済サービス（カード/アプリ）」が利用可能になる。  
ICカード（ICOCA）は倉吉駅の券売機で購入可能。

#### 公共予約システム

令和8年3月2日からオンラインによる町内施設予約・使用申込ができるようになる。

#### 【対象施設】

社会体育施設等10施設、三朝町総合文化ホール、三朝町総合スポーツセンター、各地区公民館

### 主な条例改正

【基本料金】（消費税及び地方消費税額を除く）

口径 mm	上水道			簡易水道		
	現行	改定後	改定増額	現行	改定後	改定増額
13	850円	900円	50円	700円	800円	100円
20	2,150円	2,300円	150円	2,000円	2,200円	200円
25	4,000円	4,200円	200円	3,200円	3,600円	400円
30	5,500円	5,800円	300円	4,400円	4,900円	500円
40	7,800円	8,300円	500円	6,200円	7,000円	800円
50	12,600円	13,300円	700円	10,100円	11,300円	1,200円
75	23,000円	24,000円	1,000円			
100	34,000円	36,000円	2,000円			

#### ○三朝町水道事業 給水条例の一部改正

令和8年6月請求分から水道の基本料金が改定される。

#### 教育長の任命に同意（議案第74号）

令和7年12月31日任期満了の西田教育長に代わって、新たに塩谷俊樹さんを教育長として任命することに同意した。任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日までの3年間。

# 常任委員会 で慎重審査

委員会における主な質疑

## 総務教育常任委員会

### 公共施設予約システム導入

**問** 公共施設予約システムは3月2日から運用されるとのことだが、予約方法と対象施設は。

**答** インターネットの環境があればスマートフォンからでも予約はできる。球場などの社会体育施設の6施設、小中学校体育館及びグラウンド、スポーツセンター、各地区公民館、総合文化ホール等、ほとんどの町施設の予約が可能になる。

### 充電式電池等の分別回収

**問** 令和8年4月より町でも充電式電池・リチウムイオン電池を有害ごみとして回収する予定だが、どこで回収するのか。

**答** 各集落に設置しているごみ置き場で、乾電池や蛍光管等の有害ごみと同じ様に回収する予定である。

**問** 今まで個人で処分していたものを町が回収して対応するのか。また、費用は発生するのか。

**答** 町が回収し、ほづきりサイクルセンターに持って行き、廃棄可能な業者へ処分を依頼する予定である。有害ごみの量が増えるので、その分の町の負担は増えると思われる。

### 温泉を活用した健康まちづくり事業

**問** 健康・運動アプリの開発で300人のデータを収集することだが、参加者の募集は300人集まれば終わるのか。

**答** 健康・運動アプリは、測定リング（指輪）とスマートフォンのアプリを連携させて、日々の歩数、心拍数、活動量、睡眠などのデータを確認できるものである。現在、140人程度参加されているが、まずは300人を目指したい。

また、このアプリでは温泉を利用

する方とそうでない方の比較をして、温泉と健康の因果関係もデータで解析していく。

### すまいる応援事業（移住定住促進）

**問** 利用者アンケートには、他にも使えるものが良いとの意見もあるようだが、今後見直しはあるのか。

**答** 町内に住宅を新築または購入された方に三朝米1年分を贈呈する事業である。一定の効果はあったが、子育て世代には足りない、高齢の方には多すぎるなどの意見もあった。またお米以外のもので支援があればとの意見もあり、利用者の意見も踏まえて見直しも考えたい。移住定住の観点からも検討はしていきたい。

### 三朝町放課後児童クラブのあり方検討

**問** 放課後児童クラブは旧三朝小学校の方に合併する方向なのか。

**答** 放課後児童クラブのあり方について、検討委員会から答申がなされた。将来的な設置数と運営主体のあり方については、当面の間、選択制を継承

したまま、現在の2か所の開設を維持、児童数の推移を見ながら検討する（児童数20名以下なら要検討）こととしている。

その他に答申において、運営主体については地域団体など民間活力の導入を積極的に検討する方向。施設環境については、旧三朝小学校の空き教室等を活用し、地域住民や民間団体による体験活動や交流事業、三朝らしい多様な放課後環境の創出を図ることとしている。



人形劇てっぽんかっぽん（学童クラブ）

## 産業民生常任委員会

### 米増産緊急支援事業

**問** 補正予算の鳥取県令和の米増産緊急支援事業費補助金の対象は。

**答** 国内における米不足および米価上昇の影響から県内における主食用米の生産意欲が高まる一方で、農業機械等の価格高騰の影響から規模拡大による米の増産に踏み切れない農業経営体に必要な機械購入費の2分の1を支援するもの。

### ふるさと応援寄附金

**問** ふるさと納税の寄附額が1億円を超え、昨年の同時期と比べて1・6倍になった要因は何か。

**答** 中間事業者が寄附者の目に留まるよう広告等をしたり、令和6年度には返礼品の数を450品目から530品目程度に増やしたことが増額につながった。また、ふるさと納税サイトでのポイント付与が令和7年9月末に

廃止されたため、その駆け込み需要による増額もあったと推測される。

**問** ふるさと納税の米の返礼品の需要に供給が追い付いていない時期があったが現在は問題ないのか。

**答** 返礼品提供事業者を増やし、米の在庫は潤沢に確保している。また、今年度より三徳レンジャーが作ったお米も返礼品として出すようになっている。

### 物価高騰対応支援地方創生臨時交付金

**問** 三朝町くらし応援商品券の対象者は。

**答** 0歳児から全町民を対象にして、町内事業所で使用できる商品券を1人当たり1万3千円配布する予定。

**問** 事業費に印刷代70万円、郵券代280万円が計上されているが、抑えることはできないのか。

**答** 世帯主宛に世帯全員分の商品券を郵送することは、家庭によってはあまり良くない方も過去にはいたので、今回は1人1通ずつ郵送で進めたい。印刷代は容易に複製できないも

のを用意する必要がある、いくらかは費用がかかってしまう。

### こども公園構想事業

**問** こども公園構想計画により進めている桜つづみ中の島公園に設置する遊具はどのようなものなのか。

**答** 少し大きめの複合遊具の設置を考えている。

**問** 遊具の設置が3か所計画されているが、すべて同じ規模になるのか。

**答** メインは日帰り入浴等施設に併設する事業だと思っている。ふわふわドーム（屋根付き）と小さい子どもの遊べる遊具を付随させるよう考えているので規模は大きくなる。次は桜つづみ中の島公園の複合遊具で、3番目は旧三朝小学校の教室に設置する小さい子ども達が遊べる遊具になると思う。

### 三徳川左岸移転工事

**問** 温泉広場付近の町道が通れない状況にあり観光客にも影響があると思うが、現在進行中の三徳川左岸下水道移転工事はいつ完了するのか。

**答** 下水道移転工事の工期は令和8年2月27日までとなっているが、工事終了後に町道舗装工事が行われる予定である。工事の際には改めて関係団体等に通知をする。



# 一般質問

一般質問は、議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

# あなたの声を 町政に

6人の議員が一般質問をおこないました。

三朝町は、執行部答弁を除き1人20分以内の制限  
時間内であれば、質問の回数に制限はありません。

議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

ページ	質問事項	質問議員
8	1 身体障がい者への支援と情報保障の充実について 2 若い世代が活動する仕組みづくりについて	河村 明浩
9	1 町を離れた若者のUターン施策について	伊藤 博文
10	1 交通難民の高齢者に送迎サポートを	森 貴美子
11	1 交通弱者支援について	吉村美穂子
12	1 人口減少克服への総合戦略を問う	小椋 泰志
13	1 松浦町政の3期目に期待すること	山口 博

※ケーブルテレビでは、一般質問後の最初の日曜日に、録画放送を行っています。  
(10:00～、18:00～)

## 問 聴覚障がい者への支援と情報保障は

答 誰もが等しく情報を得られる体制づくりをしたい



河村 明浩 議員

### 本町の支援体制

河村

本町の手話通訳者や要約  
筆記者の配置状況と現状は。

町長

公益社団法人鳥取県聴覚  
障害者協会に中部一市四町  
で共同委託しており、行事  
や会議等必要がある場合に  
手話通訳者を派遣しても  
らっている。

ただし、近年町民への派  
遣実績はない。

### 手話奉仕員の研修をし ては

河村

手話奉仕員の養成講座を  
開催して手話に対する理解  
を広めることが必要では。

町長

委託事業の中で、手話奉  
仕員の養成研修や現任研修  
も毎年実施し、手話の普及  
啓発に努めている。

### 災害等緊急時の情報保 障は

河村

災害時等緊急時の  
情報伝達は、聴覚障がい  
者にもスムーズに  
されなければいけな  
いと思う。避難勧告等  
の必要な情報をどの  
ように伝達している  
のか。

町長

個別避難計画、あ  
るいは、民生委員等、  
各集落の方に協力を  
お願いしている。



デフリンピックキャラバンで手話を習う

### 今後の支援体制は

河村

今後はどう支援をしてい  
く考えているのか。

町長

年齢や障がいの有無に関  
わらず、誰もが等しく必要  
な情報を得る体制づくり等  
に継続して取り組んでいき  
たい。

## 政 策

### 問 若者の後押しとなる取り組みを

答 時代に合った若者への支援を考  
えたい

### 若者の地域参加の状況は

河村

若者の地域参加の現状認  
識と課題をどのように分析  
しているか。

町長

少子高齢化の進行や様々  
な要因により、若者の地域  
行事への参加が少なくなっ  
ている。仕事や個人の楽し  
み等を優先する方が多いの  
ではないかと思う。

### 若者の集まる機会の創出

河村

若者の交流ラウンジを開  
催し、心理的にハードルが低  
く参加しやすいものを実施  
してはどうか。

町長

若者が気軽に立ち寄れる  
空間があれば、そこから活  
動の場として発展すること

もあると思う。いろんな形  
で考えていきたい。

### アンケート調査の実施を

河村

若者が地域でやりたいこ  
とを調べるためにアンケー  
ト調査をしては。

町長

大変有効な手段であり、  
単純な実態調査ではなく、  
ニーズを把握できるような  
調査を考えてみたい。

### 助成金の制度は

河村

若者の活動への後押しとな  
るような助成金はないのか。

町長

既存の地域づくりの制度  
を活用しながら、時代に合っ  
た支援を考えたい。



伊藤 博文 議員

## 問 若者が町に戻ってこない

答 町の情報を発信してつながり続けることが重要

### 町と若者がつながりを

伊藤

本町は毎年約100名程度の人口が減少している。一つの要因として三朝町を離れた若者が戻ってこないことが問題だと考える。若者が進学や就職で町を去ることは、ある意味自然な流れなので仕方がない。若者が町を「出ていくこと」を止めるのは難しいが、町と若者がつながり続けることは難しくない。

町外に進んだ高校生・大学生に対し、町の最新情報をSNSで発信することで町と若者がつながり続けること

ができると考えるが。

町長

本町では、町外への進学、そして就職した若者と継続的な関係を維持するため、平成26年からふるさとレターとして広報紙や求人情報を毎月1回イベント情報等と併せて郵送している。近年は、ふるさとレターLINEに移行し、令和5年度から現在までに45名が登録している。

### 高校生とつながる重要性

伊藤

高校生との連携も重要だが本町には高校がないため、どうしても町と高校生の間わりは薄くなってしまふ。若者が町を「出る」か「残る」を決めるのは、町の魅力だけでなく、若者と町との関わり度合いが大きく影響すると思われる。

高校生が地域プロジェクトに参加できる仕組み、町

との協働の場、議会との意見交換など高校生が町とのつながりを持つ場を作ることで将来の人口還流を生むと考えるが。

町長

今まで倉吉西高校の探究活動、倉吉総合産業高校の特産品開発、鳥取大学の三徳レンジャー等と町は関わりがあり、地域のイベントや高齢者のボランティア活動等にも積極的に参加してもらっている。今後は町内外の若者が本町とのつながりを持っていきたいと思える環境づくりに取り組んでいきたい。

また、令和7年11月に任用した地域プロジェクトマネージャーとも連携しながら移住定住の仕組みづくりを進めて、将来的なUターンや関係人口の拡大につなげたい。

### 情報発信の重要性

伊藤

令和8年1月に開催される二十歳を祝う会の対象者71名のうち二十歳を祝う会のLINEグループには56名が参加している。本町は中学校が1校しかないのでもつなぐしやすいと聞いた。いろいろつながりをも

つことで町に戻ってきたいと思う若者はたくさんいる。仕事、生活、コミュニティの3つの不安を解消できるかが若者が戻ってくる鍵だと思ふ。

戻ってよかったと思われる地域になるようUターンの支援、情報発信の強化をしてもらいたい。



三徳レンジャーと町民の交流（感謝祭）

## 交通

### 問 交通難民の高齢者に送迎サポートを

答 公共交通は自助・公助・共助をトータルに考える



森 貴美子 議員

#### 智頭町のA-1乗合タクシーのりりんの取り組み

森

智頭町では、町営バスを委託していたバス事業者から乗車状況や運営側の担い手不足の観点から5年後、10年後も現在の体制を供給できるか不明との見解が出され、タクシー事業者からは運行コストに見合った収益が出ていないとして、令和4年度をもって撤退の意向が示された。以上のことから、町営バス、タクシーに代わる新たな公共交通が検討され、A-1乗合タクシーのりりんの稼働へとつながった。76ヶ所のバス停が、のりりん導入後は272ヶ所の乗降ポイントへと細かく設置され、利用者からは、移動の負担が軽減された、外に出る機会が増えた、待ち時間が減った等喜びの声が上がっているそうだ。

A-1乗合タクシーの運転手は地域住民がドライバーとして雇用され、自家用車で予約されたお客様を運ぶ。目に見える形で地域貢献ができることで、ドライバーのやりがいにつながっている。

智頭町の取り組みは、未来の三朝町の交通事情にも共通点があるのではないかと。今後、本町にも導入すべきではないか。

町長

A-1を導入すると財政負担がかなりかかるため、人口に見合うのかどうかと考へなくてはいけない。システムの構築、運行事業の委

託、A-1に関わる費用のほか、予約が集中する時間帯や空いた時間帯など検討すべき不確定要素があり、安定的な運用を図る上ではある程度平準化していく課題がある。

新たなシステムの導入は非常に慎重な検討が必要。路線バスを廃止して町営バスに変えたら路線バスに返ることはもつてできない。ただ、今の制度の中では公共交通が無くなる危険があるということとは十分認識している。

#### 高齢者の通院や買い物の移動支援

森

自治会や住民組織、ボランティア団体などによる高齢者の通院や買い物の移動支援、訪問型サービスDの活動する団体を募集してはどうか。

町長

サービスの担い手として、住民の有償ボランティアが必要になる。人材の確保が課題となると思う。

#### ドライバーの育成

森

乗合タクシーなどのドライバーは、自動車学校で交通空白地有償運送運転者講習を受ける必要がある。智頭町では講習費を全額負担しているが。

町長

乗合タクシーを進めることになれば、ドライバー育成のための支援は必要だと思っている。



智頭町役場



のりりん資料



吉村美穂子 議員

## 生活 問 交通弱者への支援を 答 現状を把握し検討する

**公共交通に対する町民満足度調査をしては**

**吉村**

町民、特に高齢者や日常の移動に課題を持つ方々の声を把握することが、重要だと思う。アンケート調査やヒアリングを通して、町民が必要とする移動ニーズ、利用時間帯、目的地、移動手段の希望など、町民の声を収集することで、改善対策の優先順位が明確になり、実効性のある交通弱者対策が出来るのではないかと。

**町長**

サンサンバスの運行から来年で5年。現状を把握す

る意味でも、満足度やニーズの調査は必要で、町の第12次総合計画にも公共交通計画について十分反映させていきたい。

**AIオンデマンド交通の導入を検討しては**

**吉村**

小規模自治体で導入が進むAIオンデマンド交通は、予約があれば最適ルートで配車するので、利用者の利便性が高く、山間部が多く、人口が分散している本町には適していると思う。

**町長**

AIオンデマンド交通は、利用者の利便性の向上、空車運行が減る、環境負荷の減少といったメリットがある。しかし、路線バスやみささサンサンバスの既存の交通体系との適応を考えると課題が多く、研究すべき点がある。

**吉村**

令和6年度、バス運行対策補助金は国、県、町を含め4479万円。サンサンバスは町有償運行ということでは2305万円だが、利用人数、運賃を考えると、AIオンデマンド交通にした方が費用対効果上がるのではないか。

**町長**

行政負担を減らそうと思うと、運賃を値上げする方法もあるが、現在の運行体系が町の施策としては妥当だと思う。路線バス以外になると特別交付税の措置が多くないので、町の負担が増えてくると思う。AIオンデマンド交通については、初期投資からランニングコスト、システム改修や人件費などを含め研究する必要がある。

**吉村**

特定の地域をモデルとして

実証運行してみてもどうか。

**町長**

以前、過疎地有償運送の取り組みを考えたことがあり、準備を進めたことがあったが、ドライバーの確保など課題があった。実証運行をしていくのは大事だと思うが、地域などでの話し合いが大切だと思う。

**吉村**

サンサンバスの利用人数や希望を踏まえて、今後停留所の見直しをすることについてはどうか。

**町長**

可能だと思う。利用の無いところは見直していく必要がある。

**AIオンデマンド交通**

コンピュータの人工知能を活用し、利用者の予約に対しリアルタイムに最適配車を行うシステム



みささサンサンバス



三朝町公共交通協議会

対人口減少策

問 戦略的施策で人口減少対策の強化を

答 町の最重要課題として取り組んでいく



小椋 泰志 議員

人口戦略推進チームを設置しては

小椋

移住定住支援、雇用、教育、子育て支援など一体的に扱う人口戦略推進チーム（仮称）を設置し、若者や子育て世帯も参画できる合議体として運営してはどうか。

町長

組織体制については、これまで職員規模や事務スペースの関係でチームでの運営が機能しにくい面もあり、難しさを感じている。意見は参考にさせていただきたい。

若者や子育て世代の意見を町政に活かす仕組みづくりを

小椋

本町ですばらしい教育を受けた子どもたちが、将来にわたって定住できるよう、今まで以上に若者世代や子育て世代から意見を聴く機会が必要ではないか。

町長

総合計画をつくるためのワークショップだけでなく、普段から話ができるようなネットワークづくりが大事だと感じている。各世代のつながりをつくっていききたい。

温泉を活用した健康づくり事業を町の戦略施策に

小椋

温泉と健康を軸とした本町ならではの取り組みは、町の魅力を高め、健康で選ばれる町のブランド形成にもつながる。関係人口の拡大や移住定住にも寄与し、人口減少

対策として大きな効果を持つと考えるがどうか。

町長

健康まちづくりの基本構想を具現化して、三朝温泉病院、岡山大学、新たな温泉施設の運営会社等と産官学連携を図りながら、健康で選ばれる町の戦略としてまちづくり計画、次期総合計画に位置付けていきたい。

小椋

温泉活用プログラムや新たな温泉入浴施設の準備が進んでいるが、健康になったと実感できる取り組みの成果を示す評価指標の設定が



健康運動アプリ

必要ではないか。

町長

取り組みの一つとして健康運動アプリを開発し町民にモニターとして参加いただきながら、指標を数値化して健康意識の醸成につなげていく。今後は三朝温泉病院や岡山大学の専門家の方を含め、どうやって温泉を活用して健康づくりを進めていくか一緒に考えていきたい。

移住定住につながる空き家対策の強化を

小椋

人口減少と高齢化が急速に進む中、移住希望者が住みたいときに住める仕組みづくりが求められる。住まい探しから入

居までの支援体制を強化するなど実効性のある取り組みを進めるべき。

町長

本年11月に移住定住と空き家対策に特化した地域プロジェクトマネージャーを任用したことで、関係部署や外郭団体、不動産事業者等とも連携しながら総合的な支援体制を強化していく。今後も地域等と連携しながら空き家対策を着実に推進していきたい。



人口減少対策は最重要課題



山口 博 議員

町づくり

問 松浦町政の3期目公約の実現に期待

答 一生懸命取り組み頑張っていきたい

楽しい集いやイベントの開催で町を元気に

**山口** 若者から三朝町には楽しい集いや面白いことが少ないと聞く。楽しい集いやイベントは町を元気にするもので大切だ。さらにはイベントの継続開催には息の長い支援が必要だと思つが。

町長

これまで若い世代から三朝町には楽しい集いや面白い場所が少ないと聞いている。今議会で桜づつみ中の島公園に大型遊具の設置を提案しており、引き続き色んな施設と連携しながら環境整備を図りたい。

町民が気軽に参加できるイベントの創出には、主催体制・経費問題等があると思う。これから取り組もうとしておられる人達がいたら情報を共有しつつ対応していきたい。

幼児期からの外国語コミュニケーションの強化を

山口

公約で幼児期からの外国語コミュニケーション力の強化に注目している。習った英語を試す機会として各年齢期における英語スピーチコンテストの開催や図書館で開催している英語村の活用などをしている。

町長

第11次総合計画の外国語コミュニケーション力の強化で、中学校卒業時に英語で三朝温泉の案内ができることを目指しているが。

係もあるので教育委員会で実行性について検討していただく。また、英語村の活用についても英語に触れる機会を持つことは非常に大事なもので併せて教育委員会と考えていきたい。

中学生はホームステイなどでも自分自身で考え、外国の方と対話をしてきた。そういう能力のある生徒も増えていて、ある程度の観光案内はできると思う。

町内産業の育成で若者の受け皿を

山口

公約の産業が成長するまちでは、創業支援や企業立地促進を掲げている。町内出身若者のUターンを受け入れる産業促進や起業支援することで若者が住みたくなる町づくりに繋がるのでは。

町長

観光・商工分野において観光消費額の拡大や創業支援、企業立地促進に注力し、地域

経済の振興で若い人を含む関係人口の拡充に努めたい。

アンケートで若者のニーズ把握を

山口

今回の一般質問では他の議員も若者の定住促進にお

いて、若者が三朝で暮らすためにどの様な条件・環境を期待しているのか把握するためには、アンケート調査の重要性を提案しており、是非実施すべきである。



和紙灯りコンサート

【議案に対する賛否】

議案番号	議案名	議員名（議席順）										結果
		伊藤博文	石谷正	森貴美子	小椋泰志	河村明浩	吉村美穂子	山口博	藤井克孝	遠藤勝太郎	松原成利	
(12月定例会)												
町長提出議案名												
65	令和7年度三朝町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
66	令和7年度三朝町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
67	令和7年度三朝町温泉配湯事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
68	令和7年度三朝町下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
69	三朝町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
70	公共施設予約システムの導入に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
71	三朝町水道事業給水条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
72	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
73	令和7年度三朝町一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
74	教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案名												
議6	保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議7	保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※○は議案に対する賛成、●は反対等であることを意味しています。  
 ※松原成利議長を除く9名の賛否状況です。

【陳情】 12月定例会の陳情に対する審査結果です。

件名	提出者	審査結果	審査意見
保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会	採択 意見書提出	保育士配置基準を引き上げることで、子ども一人ひとりに丁寧な対応が可能となるため、早期完全実施すべき。
保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会	採択 意見書提出	保育現場の人材不足は深刻で、社会福祉法人が安定的に保育サービスを提供するには公費助成の継続が必要。
消費税率5%の引き下げとインボイス制度の廃止を求めるよう国に意見書をあげるよう求める陳情書	三朝革新懇	趣旨採択	消費税率は維持すべきだが、日常生活品の税率引き下げの検討は必要。インボイス制度は税制度の正確な運用のために必要。
防衛費の増大でなく、抜本的な物価高騰対策や医療・福祉・教育・年金の充実を求める意見書提出の陳情	三朝革新懇	趣旨採択	防衛費は軍事装備品だけでなく、自衛官の処遇改善等にも使われている。防衛費は総合的な予算配分していくべき。
多様な民意を切り捨てる衆議院比例定数削減に反対する陳情	三朝革新懇	趣旨採択	民意の多様性尊重は重要だが、衆議院の選挙や議員定数の在り方は国会で議論されるべき問題である。
生活保護基準引き下げ違法の最高裁判決を踏まえ速やかな対応を求める陳情	鳥取県生活と健康を守る会連合会	趣旨採択	国として生活保護基準の見直しと追加支給が検討されており、国の動向を見守る時期にある。
臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会	不採択	渡航の制限は難しい。臓器移植に関わる不正取引等は事実関係の確認ができず、知見が十分でない地方自治体が判断をすることは困難である。

## 職場訪問シリーズ

大瀬にお住まいの小野奈緒実さんと、  
牧にお住まいの村本辰之介さんにお話を伺いました。

### 質問

職場について教えてください。

### 村本

入社して4年目になります。最初は飲食店や県外で自動車関係の工場に勤めていましたが、全く見たこともない物、機械も触ったことがない状態から入社しましたので、ゼロから覚えるのが大変でした。道具とかも使ったことがないので、全部頭に叩き込んで無理やり働いている状態でした。时期的に忙しい時があるので、そういった時はバタバタして大変だな、という感じ  
です。

### 小野

お客様の注文に応じて作る製品も変わるため、覚えることがたくさんありますが、吉田次長や課長が解らないところを丁寧に教えてくれます。

最初は、目視で検査の仕事をしました。今は機械を使って、大きさを測る検査をしています。同僚が鳥取

工場に移動になったりして、若い子が入ってきた時は、私が教える立場になりました。ちゃんと覚えて教えなきゃと思っています。

年に1回は、大阪で研修を受けたりしています。最近は、リモートで受けられる研修もあります。



### 質問

先程、小野さんから上司と話しやすいとお聞きしましたが、

### 村本

工場は職人気質の人が多いイメージがあると思いますが、上司という

より、「凄くできる先輩」という感じですか。聞いたら的確に伝えてくれます。

### 質問

フレックスタイム制はありますか。

### 小野

子どもたちの学校の個人懇談にいく時は、半日休みを取ったりしていましたが、フレックスタイムを使うことで、自分自身で時間を管理することが出来るようになりました。小学生のお子さんがおられる方は、参観日に参加するためにフレックスタイムを利用したりしています。

### 村本

始まった当初から使わせてもらっています。娘がまだ小さいので、保育園に送る時、忙しかったのですが、おかげで朝の時間に余裕がもてるようになりました。



### 質問

将来の夢はありますか。

### 小野

子どもたちが立派な大人になってほしい。

### 質問

抱負をお聞かせください。

### 村本

今は機械を動かすだけの現場で作業していますが、プログラムのほうも作ってみたいかという話を聞いていますので、実際にやってみたい。

お二人の働いている  
内外精機工業株式会社とは…



プラスチック材料の精密切削加工等を行っており、町内には三朝工場（高橋）と鳥取工場（神倉）がある。

取材のご協力ありがとうございました。

## みささ町かがやく子どもフェスティバル ボランティアに参加して

私たちは、買い物コーナーと書家さんのブースを担当させていただきました。

買い物コーナーでは、仕事を体験するともらえるチケットで買い物ができるというシステムでした。もともと、たくさんのボランティアで運営する予定だったのですが、少ない人数で行うことになり、一つ一つの仕事がとても大変に感じました。ですが、小さい子どもたちが笑顔になり、喜んでくれるととてもやりがいに感じました。

書家さんのブースでは、「ここに書いてね。」や「上手に書けたね。」などの言葉を子どもたち

にかけて、とても良い作品を作りあげていたので、教えていた私たちも良い経験になりました。

この経験を通して、人と関わることやあたたかい心をもって接することの大切さを実感しました。これからの生活にそれらを活かし、三朝中の生徒として、頼られる人になっていきます。最後になりましたが、このような素晴らしい体験をさせていただき、ありがとうございました。



三朝中学校2年  
荒石遥花  
河端琉乃

## 議会・委員会を傍聴しませんか

議会の審議はみなさんに公開しています。本会議、委員会等での審議がどのように進められているのか、直接ご覧になってみませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽に役場2階へお越しください。

※常任委員会・全員協議会の傍聴には委員長・議長の許可が必要です。詳しくは**議会事務局（電話43-3511）**にお問い合わせください。

### 3月定例会の日程予定（案）

会期 3月5日～3月23日  
（19日間）

※日程は変更になる場合があります。  
※近づきましたら、防災無線、町ホームページでもお知らせします。

## ～町のホームページに、議会情報を掲載しています～

- ・町ホームページから **三朝町議会** のページをご覧ください。

町ホームページアドレス <https://www.town.misasa.tottori.jp/>

- ・町議会のしくみや議会日程、議員紹介など、さまざまな情報を掲載しています。
- ・議会だよりのバックナンバーも閲覧することができます。

発行責任者 議長 松原 成利  
編集 議会広報常任委員会  
委員長 森 貴美子  
副委員長 藤井 克孝  
委員 山口 博  
委員 石谷 正  
委員 伊藤 博文

（森 貴美子 記）

これからの町内の職場を訪問し、若い世代の活躍を取材したいと思います。  
新しい年を迎え、三朝町内の全ての事業の発展を心よりお祈りいたします。

取材をしてみても、長く三朝町の雇用に貢献され、現在も若い世代の雇用の受け皿になっていると感じました。吉田次長はじめ従業員の皆様、ご協力本当にありがとうございました。

初めて職場訪問シリーズに、高橋にある内外精機の工場を見学させていただきました。  
始めたきっかけは、「三朝町には働く場所が無いとよく耳にするが、働く場所を取材してはどうか。」と町民の方からご意見をいただいたからです。

初めての職場訪問シリーズに、高橋にある内外精機の工場を見学させていただきました。

